

報道関係者各位

2019年6月24日

株式会社アマナ

高品質なドローン空撮大型映像を各国首脳に披露 ～つくば国際会議場にて行なわれた「G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」にて アマナビがコンテンツを提供～

アマナグループでドローン人材育成やドローン空撮事業を展開する株式会社アマナビ（本社：東京都品川区、代表取締役社長 児玉秀明、以下「アマナビ」）はこの度、WONDER VISION 社が開発した「WV Sphere 5.2」のための大型半球スクリーン映像用の空撮映像を撮影し、「2019 G20 大阪サミット」の関係閣僚会議「貿易・デジタル経済大臣会合」（開催地：茨城県つくば市、開催期間：6月8日～9日）の場で各国首脳に披露しました。

この度の映像撮影は、日本の技術力を誇る企業に対して先端技術の展示を呼びかけると共に、「日本を代表する美しい場所の空撮映像をコンテンツとして諸外国の関係大臣に体験いただく」というコンセプトのもとで実現。会場に設置された KDDI（株）のブースにて、河野太郎外務大臣はじめ、世耕弘成経済産業大臣、石田真敏総務大臣の他、世界各国の閣僚たちが「WV Sphere5.2」のモーションライドを体験し、日本の映像美を堪能していただきました。



本展示においては、富士山周辺、桜咲く姫路城や新緑が美しい和歌山城など、日本の美景スポットにて空撮を実施。「WV Sphere 5.2」の開発者の田村吾郎氏（RamAir 代表／アートディレクター；URL: <http://ramair.co.jp/artists/goro/>）自らが監督する形で撮影されました。



▼ 「airvision（エアビジョン）」について

アマナグループの（株）アマナビ（<https://adstokyo.com/>）に所属する空撮プロフェッショナルチーム。空撮に使用するマルチコプター（ドローン）は、地上スレスレから高度150メートル（※）までの空間を自由に移動、静止することができるマルチローター機体にカメラを搭載することで、自由度の高い角度、距離、高さから撮影が可能です。搭載されるカメラは、機体の動きや振動の影響を受けず、自ら姿勢を安定させ、自由なアングル操作を可能にしています。

「airvision」は高精細映像だけでなく、マイクロドローン、ドローンライティング、ドローン360度VR映像、モーションコントロールによるドローンのプログラミングなど、最先端の映像を提供しています。また、産業用ドローン分野でも専門スタッフが点検、測量、精密農業などでドローンを導入したい企業へのコンサルティングも行っています。

（※）飛行高度は法令、飛行区域、環境等の条件により変わります。

詳細については、下記よりご覧ください。

<https://airvision.jp/>

～「ビジュアルコミュニケーションで世界を豊かにする。」アマナは今年、40周年を迎えました～

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社アマナ コーポレートコミュニケーション室（担当：高柳／住永）

TEL：03-3740-3500 MAIL：pr@amana.jp

株式会社アマナ 会社概要

代 表 者 : 代表取締役社長 進藤博信
所 在 地 : 東京都品川区東品川 2-2-43
設 立 : 1979 年 4 月
資 本 金 : 10 億 9,714 万円
証券コード : 東証マザーズ 2402
a 売上高 : (連結) 222 億 90 百万円 ※2018 年度 12 月期実績
従 業 員 数 : (連結) 1,022 名 ※2019 年 1 月 1 日現在
事 業 内 容 : ビジュアルコミュニケーション事業
U R L : <https://amana.jp/>